

広報

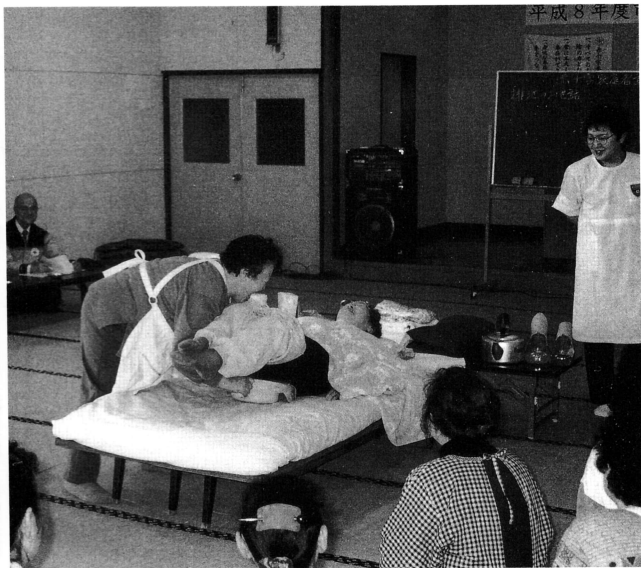


No.319

くら

平成9年

3月号



家庭に社会に
貢献しています

市浦村赤十字奉仕団（小田桐恭一委員長）の研修会が3月5日十三公民館に約150人が参加して開かれました。

赤十字奉仕団ではこれまで、地震、火災、山岳遭難等を想定し、炊き出し訓練や高齢社会に伴う寝たきり老人の家庭介護教室を開くなど、すぐ役立つ実技講習として村民から好評を得ています。

この日行われた研修会には村内各分団員および十三小学校の児童らが参加し、日本赤十字青森県支部田澤達也さんの指導で、炊き出し（おにぎり、豚汁等）の作り方を体験しました。

また県支部の和島路易子さんを講師に家庭介護の実技指導が行われ、参加者はそれぞれ介護技術を学び、有意義な一日を過ごしました。

平成8年度

市浦村スポーツ賞授与式

今年は5名が受賞

平成八年度市浦村スポーツ賞授与式が三月二日市浦村コミュニティセンターにおいて行われ、今年も各方面で活躍された

五人が受賞しました。

この表彰は、スポーツ活動に活躍された方を対象に実施しているもので、十六回目を迎えた

市浦村スポーツ賞授与式



今年の受賞式には村・体育協会関係者約百名が出席しました。

授与式では、木村教育長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を手渡したあと、功績を讃え「これからも村民のスポーツ振興の担い手として活躍してください」とあいさつしました。

続いて高松村長が「今回受賞された方々は、不断の努力が実

を結んだものである。今後はスポーツに限らず、すべての面において、人生の大きな花を咲かせてください」と激励しました。

その後受賞者を代表して斎藤祐幾さんが「これからも自分の技を磨きつつ、後継者の指導に務めます」と謝辞を述べました。受賞者は次のとおりです。

平成八年度受賞者

斎藤祐幾さん

第五十一回青森県民体育大会において、水泳競技二百メートル個人メドレー及び二百メートル自由形で優勝した。

竹谷裕治さん

昭和五十八年から十一年間体育指導委員を務めスポーツの普及・指導、生涯スポーツの振興に寄与した。

梶浦武也さん

第五十一回青森県民体育大会陸上競技男子百メートル競技において優勝。第四十七回大会より五年連続優勝した。

石岡考次さん

五所川原工業高等学校



▲代表して謝辞を述べる斎藤さん

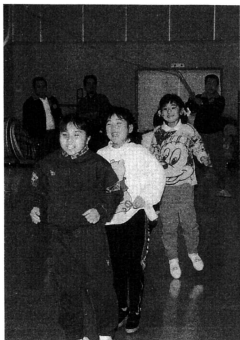
受賞おめでとうございます

しゅうらレクリエーション

ザ・ギネス

二月二十三日コミュニティセンターで「第四回しゅうらレクリエーションザ・ギネス」が開催され、ギネスに挑戦する種目からレクリエーション的ゲームなど十種目が行われました。

昨年より参加者は少なかったものの、レクリエーション部門では、二人三脚を五人編成で行ったり、キャスターのついた板に腹ばいになって競争する「4WDレース」、上から落ちてくるお札をハシで何枚取るかなどのゲームで会場は笑顔でいっぱいでした。ギネス部門ではスコ



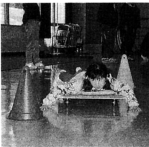
▲タイミングを合わせてジャンプノ



▲レースは慎重かつ大胆に

アゾーンにボールをを入れて合計点を競う「点取りゲート」で地元老人クラブが従来の記録を二十点上回る二百点を獲得し、新記録を達成しました。

▼ゲームでも目は真剣です



町内会対抗 スポーツ大会



▲見よ！バワフルな空中戦！

新

汗発見！第一回町内会親善スポーツ大会が三月一日コミュニティセンターで開催され、各町内会の代表が熱戦を繰り広げました。

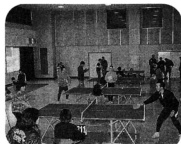
この大会は、地域の過疎化と高齢社会を迎えて停滞する町内会活動に生涯スポーツをとり入れ、住民相互の親睦と地域の活性化を図ることを目的に開かれました。

開会式には、村内各町内会代表選手百五十名が勢ぞろいするなか、成田武司さん（相内）が力強く選手宣誓をし、戦いの火ぶたが切って落とされました。

種目は、ソフトバレーボールとラジボール卓球の二種目で競い合い、参加チームの実力が伯仲していることともあり、会場のあちこちで名勝負が生まれ、競技結果では、ソフトバレーボール、ラジボール卓球の両部



▲総合優勝を果たした相内第一チーム



▲昔のCANは今も健在です

門とも相内第一チームが制し、総合優勝を果たしました。競技終了後は参加者全員そろって懇親会が開かれ、寒い体育館で冷えた体を豚汁で暖めながら今後の町内会活動について語り合っていました。

第一回町内会親善 ソフトスポーツ大会

NEWS フラッシュ

消防ポンプ自動車と積載車を更新

市浦村第一・第二消防団

市浦村消防団第一分団(相内)

の消防ポンプ自動車と第二分団(磯松)に配備している消防ポンプ積載車は、昭和五十三年と昭和五十五年で購入したもので、車体の腐食や機器、エンジントラブルの発生など、老朽化してきたことから、最新式のものに切り替えることとし、それぞれ、更新配備しました。

このほど行われた入魂式には、村、消防関係者四十名が出席し、工藤誠一郎助役から第一分



▲今回導入されたポンプ自動車(左)とポンプ積載車(右)

団米谷慶治分団長、第二分団三和幸夫分団長にそれぞれ車の鍵が手渡されました。

男子厨房に入るべし!!

男子の料理教室

二月から三月にかけて市浦村社会福祉協議会主催による男子の料理教室が行われました。

人生八十年と言われる現代、突然奥さんが家事をできなくなっても自分でできるような、また一人になったときの

ための子行練習として毎年開催されているもので、今回も約十名の参加者が集まり、ポテトコロッケ、ひじきの炒め煮、ワカメのみそ汁等に挑戦しました。

昔と違い共働き家庭が増え、中学



▲手を切らないように……

消防ポンプ自動車等は、火災発生時に威力を発揮するものですが、大事なことは、火事を出さないことが一番です。

農作業の準備が忙しくなり、原野・山林での火災が多くなる季節です。火の取り扱いには十分注意したいものです。

今回更新した消防ポンプ自動車の購入費は一千五百九十二万四千円、消防ポンプ積載車六百七十三万七千円でした。

子ども塾、和太鼓、英会話

少年少女サークル事業終了

教育委員会では、地域における児童・生徒の学校外活動の振興を図るため、八年度に三つのサークルを実施しました。

①ふるさと子ども塾(塾生三十人)では、現在必要とされている社会体験、自然体験をさせながら感性やたくまさを育てると共にリーダーシップを身に付けさせる活動を行い、主にクラフトづくりや足跡めぐり、発掘体験などを行いました。

②和太鼓サークル(塾生十二人)では、太田小学校の児童を対象に行いました。村の和太鼓サークル「東日流衆」から指導を受けながら、心とからだに響く太鼓の打ち方を学びました。また、姫神の星吉昭氏作曲の「十三瀬」をマスターし、村の各種イベントや村のPRなど幅広い活動をしました。

③英会話サークル(塾生三十七人)では、未来を背負って立つ子ども達に国際化社会に向けて、楽しみながら英会話を学習してもらおうと共に、他者とかかわる能力を育てる活動をしました。

管内四校の児童が集まり、失われたつある異年齢集団が地域ででき、子ども達が独自にこのサークル活動(各二十回開催)で培ったものを子ども達一人ひとりが披露したいという欲望や自己表現する子ども達が増えるなどの成果がありました。



▲ふるさと子ども塾



▲英会話サークル



▲和太鼓サークル



▲越谷翔吾君



▲三浦愛さん

越

谷君・三浦さんが入賞

「社会を明るくする運動作文コンテスト」

青森保護観察所が毎年主催している「社会を明るくする運動」作文コンテスト。平成八年度の表彰式が二月十四日に行われ、今回市浦中学校からは二名の受賞者が選ばれました。

このコンテストは県内の中学校を対象に作品を募集しているもので、いじめや犯罪、ボランティア活動など身近な社会問題を取り上げた作文二十四点の中から選ばれました。県保護司連盟会長賞に輝いた越谷翔吾君（市浦中一年）の作品は「明るく温かい家庭づくりについて」で、「自分が家族の一員なのだ」と自覚し、「一人一人がお互いを考え助け合い、そして話し合うこと」によって、どんなに温かく、

毎年高齢者を対象に開催している「寿大学」が、今年も一月二十日から三月三日にかけて村

元

気はつらつ勉強しました

村内五会場場で「寿大学」

内五地区を移動しながら開催されました。今回も村内各会場場で講演が行



▲熱心に学習する参加者

パ

ソコンアレルギーはもう卒業

教育委員会主催パソコン教室

自分の家庭をモデルに独自の家庭のあり方を発表したものです。また、県更生保護婦人連盟会長賞に選ばれた三浦愛さん（市浦

中二年）は「私の存在」をテーマに、自分が病気になったとき、部活の顧問や仲間達に助けけてもらった体験から「自分の存在を改めて実感し、同時に一人一人の存在の大切さを学ぶことができた」と発表しています。

去る三月三日から五日までの三日間、教育委員会主催のパソコン教室が行われました。

受講生はほとんど初心者でしたが、基本操作・ワープロ・表計算など熱心に学びました。講師の館山さんは「パソコンの操作をマスターするには、普段からパソコンに接して慣れることが肝心です」と語っており、参加者からは「今後も定期的に、回数を増やして教室を開催してほしい」と要望も出ていました。

合

格おめでとう

第一〇五回全国商工会珠算検定試験

村教育委員会で激励する社



▲どの会場も満員でした

第一〇五回全国商工会珠算検定試験が、二月十四日午後七時から開催され、三浦瑞絵さん、成田仁美さんが見事一級に合格しました。今回の受験者数は三十五名で合格者は次のとおりです。

- ▽一級 三浦瑞絵（坂田珠算教室）成田仁美（辻分珠算塾）
- ▽二級 小山内理恵、梶浦裕季（浦田塾）
- ▽三級 戸智行、三上佳子（辻分珠算塾）
- ▽五級 竹谷知佳（辻分珠算塾）天坂友香（浦田塾）
- ▽六級 中島千恵美（浦田塾）



▲成田仁美さん



▲三浦瑞絵さん

会情勢に対応するために生涯教育に力を入れています。今後も各種研修、講習会、教室を計画していきますので積極的に参加してくれるよう呼びかけています。

まさに「転ばぬ先の杖」。新築・改築の機会にはぜひ、バリアフリーの住まい作りを。

なお、具体的なバリアフリー住宅の指針として、建設者が定めた「長寿社会対応住宅設計指針」がありますので、詳しくは下記へご相談下さい。

▶お問い合わせ先

役場建設課

▶電話番号 62-2111

**確定申告は忘れて
いませんか**

確定申告書を提出した後で、計算違いなど申告内容に間違いがあることに気付いたり、うっかりして確定申告書の提出を忘れていた人はいませんか。

もう一度確認をしてください。

税額を少なく申告したときは、「修正申告」を、また、多く申告したときは「更正の請求」をして正しい税額に訂正しましょう。

▶お問い合わせ先

五所川原税務署

▶電話番号 34-3186

**平成9年度
自衛隊幹部候補生募集**

試験科目	一般・技術	医・薬・薬剤
	平成10年4月1日現在	
資格	22歳以上26歳未満の者。ただし、大学院修士課程修了者(見込者を含む)は28歳未満	医科・歯科 専門の大学卒業業者(見込者を含む)で30歳未満の者 薬剤科 大学卒業業者(見込者を含む)で26歳未満の者。ただし、大学院修士課程修了者(見込者を含む)は28歳未満
受付期間	4月17日(木)～5月23日(金)まで	6月2日(月)～6月27日(金)まで
試験	1次 6月21日～22日(28日は飛行機員のみ) 2次 7月22日～24日	7月25日(金)

▶お問い合わせ先

自衛隊青森地方連絡部

五所川原募集事務所

五所川原市栄町34-6(35-2305)

または役場総務課

取扱い業務が変わります

—— 脇元・十三出張所 ——

当村はこれまで「豊かさ住み良さの充実」を求めて村民が真の豊かさや幸せを実感できる村づくりを行政運営の基本方針に掲げ、各種事業の振興施策を展開してきました。

一方、近年の経済社会の変化や景気低迷等を反映し、村の行財政は年々厳しさを増しており、事務事業の見直し等を含めた行政改革にも積極的に取り組んできたところで。

この4月1日からは、これまで取り扱っていた脇元・十三出張所業務の一部を縮小し、事務経費の節減合理化をさらに進めることにしました。

業務の見直しに当たっては、住民サービスを低下させない方向で検討され、事務効率を高めることにしています。

本庁で行う事務

1. 村税及び手数料は今まで出張所でも取り扱っていましたが、4月1日から、本庁又は最寄りの郵便局並びに市浦村農業協同組合、みちのく銀行で納めてください。
2. 交通災害保健事務は本庁で取り扱いますが、保育所、学校、納付組織分は本庁で集金。その他個人分については本庁へ納付してください。
3. 出稼ぎ手帳交付、労働保険加入関係事務は本庁で取扱いですが、急な場合以外は各出張所でも取次ぎします。
4. 埋火葬許可及び火葬場の使用許可は、本庁に死亡届を出した時に許可しますので、使用料と一緒に納めて下さい。

なお、火葬場のカギは、これまでどおり各出張所で保管しております。

5. これまで各出張所で証明していた各種証明は、本庁で取扱いですが、年金受給者の証明は出張所、又は本庁で取り扱います。
6. 廃棄物(ゴミ)処分許可は、処分場に捨てる時、本庁に寄って許可を得て下さい。
7. 財産区関係事務は本庁で取扱いします。
8. 国民年金の収納については、本庁窓口が最寄りの収納機関に納めてください。

委託集金の場合は本庁で集金します。

出張所で行う事務

生活保護世帯医療券の交付、公民館の使用許可、行政連絡員への文書配付(月、水、金、十三地区午前、脇元地区午後)、本庁への取り次ぎ。
※なお、ご不明な点がございましたら役場総務課までお問い合わせください。

▶市浦村役場の電話番号は62-2111

県内の交通事故概況

			青森県交通対策協議会	
	2月	累計	死者のうち	
発生	604 (708)	1,220 (1,339)	死者のうち	高齢者の死者 4 (4)
死者	7 (6)	13 (11)	シートベルト	飲酒運転による死者 2 (2)
傷者	714 (861)	1,481 (1,638)		着用義務者 3 (3) (着けなければならぬ人)
				非着用者 1 (1) (着けていなかった人)
				着けていれば助かったと思われる人 0 (0)

()内は前年。累計は1月から。



食品の日付表示が 変わりました

製造年月日表示から期限表示へ

食品の日付表示は、食品衛生法に基づき今までは製造年月日で表示されてきましたが、平成9年4月1日から、従来の「製造、加工年月日」表示に代えて、期限表示（「消費期限」「品質保持期限（または賞味期限）」）に変更されました。

消費期限の意味は？

食品の衛生上の危害が発生するおそれがないと認められる期限を示す年月日のことです。

基本的には品質が劣化しやすく、おむね5日以内に消費すべき食品につけられる表示です。

例) 弁当、調理パン、そうざい、生菓子類、食肉、生めん類など
品質保持期限（または賞味期限）の意味は？

食品のすべての品質が十分たもたれていると認められる期限を示す年月日のことです。

消費期限表示の食品に比べ、品質が比較的劣化しにくい食品につけられる表示です。

例) 清涼飲料水、即席めん類、冷凍食品、ハム・ソーセージ、牛乳など

この期限は「定められた方法により保存する」ことを前提に決められますので、表示されている保

市浦診療所の休診日が変わります

平成9年4月1日より診療所の休診日が変わります。今まで、第1木曜日、第3木曜日を休診日としてきましたが、4月より役場と同じように毎週土曜日は休診日とさせていただきます。

村民の皆様のご理解とご了承をお願いします。

現 行

第1木曜日 } 休診日
第3木曜日 }

変 更 後

毎週土曜日休診日

平成9年4月1日より実施

※なお、ご不明な点がございましたら診療所までお問い合わせ下さい。(☎62-2009)

市浦村の人口と世帯数

平成9.3.15現在

大字名	前月人口	人 口	世 帯 数
相 内	1,290	1,293	410
桂 川	69	68	23
太 田	293	292	89
島 元	548	546	197
磯 松	308	305	110
十 三	801	801	252
計	3,309	3,305	1,081

存方法は必ず守ることが必要です。

▶お問合せ先

五所川原保健所

▶電話番号 0173-34-2108

労働保険の申告・納付は お済みですか

平成8年度確定・平成9年度概算保険料の申告の時期がきました。提出・納付期限は5月20日となっておりますので、早めにお近くの銀行、郵便局等へ提出・納付をお願いします。

また、申告・納付が同時にできないときは、申告書を最寄りの労働基準監督署または、青森労働基準局・県雇用保険課へ提出し、納付についてご相談ください。

なお、平成9年度より概算保険料を延納する場合の基準額等が変更しますので、ご注意ください。

▶お問い合わせ

青森労働基準局

▶電話番号

0177-34-4111 (内線27・28)

届け出を忘れて いませんか

国民年金の加入者は、農業・漁業・自営業・学生などの第1号被保険者、サラリーマンや公務員など厚生年金や共済組合に加入している第2号被保険者、そして第2号被保険者に扶養されている配偶者の第3号被保険者と、3種類に

区分されています。

農業や漁業をしている方などが夫婦で出稼ぎに行き、その先で厚生年金に加入すると、2人とも第1号被保険者から第2号被保険者へと種別が変わることになります。また、夫が出稼ぎに行き厚生年金に加入して、妻が夫の健康保険の被扶養者に認定されると、夫は第2号被保険者、妻は第3号被保険者となります。

どちらの場合も、夫婦ともに国民年金の種別が変わりますから、市町村の役場に届け出が必要で

出稼ぎ先を退職したときには、夫婦とも元の第1号被保険者となりますので、忘れずに届け出をすることが必要です。

将来のための大切な年金を確保するために、届け出を忘れないようにしましょう。

▶お問合せ先

役場住民福祉課国民年金係

▶電話番号 62-2111

「バリアフリー住宅」を ご存じですか？

加齢と共に心身が弱ってきても、安心して自立して住み続けられるような住まいを「バリアフリー住宅」といいます。

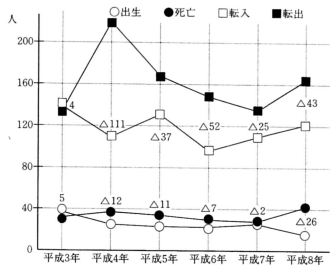
バリアフリー住宅とは、バリア（障害）がなく、誰でも利用できるという意味です。住宅といえば、段差がない、手すりが設置してある、将来、介護が必要となっても、改造しやすいような間取りになっている、といった配慮がほどこされたものをいいます。

からだがかたくなってから改造するのは、金銭的にも大きな負担になりますし、家庭内事故で亡くなる方の数が交通事故による死亡事故の約半数という統計もありますから、バリアフリー住宅は、

健康への道

No. 104

◎市浦村人口動態



	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年
○出生	37	25	23	22	25	15
●死亡	32	37	34	29	27	41
□転入	138	109	131	96	109	121
■転出	134	220	168	148	134	164

平成八年一月から十二月までの間に市浦村で生まれた子供の数は、十五人です。亡くなった人の数は四十一人であり、人口の自然減少は二十六人です。市浦村への転入は、百二十一人であり、転出は百六十四人です。この一年間で、人口は六十

九人減少しています。そこで、市浦村ふるさと定住対策条例について何点か、おしらせします。

(一) 出産祝金
出産祝金は、三人以上出産した人に、生存三十日から支給します。一人につき十万円です。

(二) 栄養食品
市浦村に居住する妊婦に対し

平成八年 わが村の人口のこぼき

て、牛乳または乳製品を支給します。支給期間は妊娠届出のあった月の翌月から出産した月の属する月の末日までです。

(三) 結婚祝金
市浦村に居住する結婚成立一組に対して二万円を支給します。詳しくは、市浦村役場窓口までお問い合わせください。

平成八年の死因の第一位は心臓

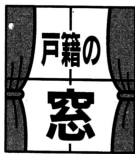
人です。そのうち、十三人は心臓病が要因で亡くなっています。(二位はガンで十人。三位は肺炎で五人)

平成八年度の総合健診の結果をまとめたところ、血液検査では高脂血症が一番多かったです。高脂血症とは、血液の中の脂分が多いことを意味します。これが要因となり、高血圧症や心筋梗塞などを引き起こす可能性を高くします。また、処理できなかった脂分が肝臓に蓄積されること、脂肪肝になる可能性もあります。心臓病と高脂血症も深い関わりがあります。注意する点とし

ては、やはり日常生活習慣です。これまで、「成人病」といわれた病気は、生活習慣から引き起こされるのだとされ、「生活習慣病」と呼ばれるようになりました。

健康と生活習慣

- 一、睡眠を七〜八時間とりましょう。
 - 二、肥満にならないこと。
 - 三、適度の身体運動をしましょう。
 - 四、喫煙しないこと。
 - 五、お酒を適量以下にしましょう。
 - 六、朝食をとること。
 - 七、間食をひかえましょう。
- ※これが七つの健康法です。



▽お誕生

藤田 竜 勇
豊島 幸弘
中川 裕樹
三浦 知幸
相川 相内
三浦 唯志
相川 尚
三浦 智子
丸山 仁

▽ご結婚
安部 武相
花島 志津香
黒川 史昭
田中 金子
佐藤 敏相
清水 友子
▽おこやみ
松江 サクラ
松嶋 裕子
和嶋 儀市
竹谷 米三
秋田 兼吉
奈良 米明

お詫びと訂正

● 広報くらら二月号で氏名に誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

三ページ二段目
「伊南忠男 J A 市浦村組合長」
「伊南忠雄 J A 市浦村組合長」
六ページ右下
「山田正信さん」
「山田正伸さん」

● 当分の間「安藤物語」の掲載は休ませていただきます。

